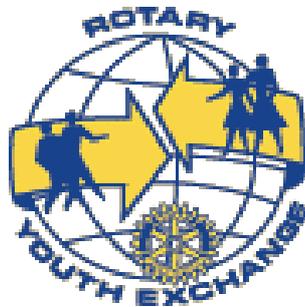


2002-2003年度

青少年交換プログラム マニュアル

【クラブカウンセラー用】



国際ロータリー第2600地区

青少年交換・ローテックス委員会

青少年交換プログラム基本事項

【地区委員会の役割】

青少年交換は基本的にはクラブのプログラムです。
地区委員会はプログラムを成功させるために、取り組みクラブに対してあらゆる援助と助言をします。また、留学生に対してはオリエンテーションを開催し、留学生としての意識の高揚をはかり、アドバイスをしていきます。

【カウンセラーの役割】

カウンセラーは常に、留学生、ホストファミリー、スクールカウンセラー、地区委員会と連絡を取り合い、トラブルを未然に防ぎます。

また、このプログラムを留学生だけでなく、すべての関係者にとって有意義なものにするため、関係者全員に必要なアドバイスをし、更に留学期間中の留学生の安全を確保するという重要な役割を担います。地区委員会を大いに利用し、プログラムを成功に導いていくのはカウンセラーの役割です。

【カウンセラー会議】

地区青少年交換・ローテックス委員会ではカウンセラー会議を年数回開催します。この会議は、プログラムを成功させるための重要な打合せ会議です。必ず出席していただくようお願いします。

【カウンセラーの任期】

カウンセラーの任期は受入書類が届いて、あなたがカウンセラーに任命されてから留学生が帰国するまでの間です。（従ってロータリー年度だけではありません。）

【How to ! 主な用語】

- 1) スポンサークラブ : 留学生を推薦し、送り出すクラブ
- 2) ホストクラブ : 留学生を受け入れるクラブ
- 3) インバウンド : Inbound 来日交換留学生
- 4) アウトバウンド : Outbound 派遣交換留学生
- 5) ローテックス : ROTEX 帰国留学生
- 6) ROTEX : 帰国学生同窓会

【留学期間】

出発してから11ヶ月以上、1年未満です。

【渡航日、帰国時期】

交換地区の青少年交換委員会と協議の上、地区委員会で決めます。

【交換相手地区】

- 1) 交換地区は地区委員会が決定し、派遣都市については交換相手地区委員会が決定。
- 2) 来日学生とクラブ組み合わせは分区代理を通して地区委員会が行います。
- 3) 受入と派遣の地区、クラブは必ずしも同じではありません。

【保 険】

派遣学生は当地区委員会で指定する保険と相手地区委員会で指定する両方の保険に加入させます。費用は本人負担です。

来日学生は相手地区委員会で指定する保険に加入してきますが、カウンセラー又は第一ホストファミリーの方の "寄留扱い" で「国民健康保険」に加入させて下さい。

【報告書】

地区委員会では、派遣学生、来日学生に翌月10日までに月例報告書を提出させます。(来日学生は3ヶ月を過ぎたら日本語も混ぜて書くこと)報告書は地区委員長宛に 郵送、又はFAX、E-mailで送るようにさせます。

【国際ルール】

留学生には、世界共通の国際ルール(4D)として、次のことが禁止されております。

- 1) 自動車、オートバイ、船舶、飛行機等の運転の禁止。(No Driving)
- 2) 飲酒の禁止。(No Drinking)
- 3) シングルデートの禁止。(No Dating)
- 4) 麻薬、覚醒剤の禁止。(No Drug)

【留学の停止】

留学途中であっても、ルールや法律に違反した場合は強制送還します。また、重大な病気や怪我等の理由で、留学を中止する場合があります。その最終決定は、ホスト地区委員会が行います。

派遣学生に対しての役割

【派遣学生の募集】

地区委員会では募集要項を作成し、地区内全クラブに配布します。募集時期は5月上旬に始まり8月10日に締切ります。

【クラブ内での募集】

クラブでは、地区委員会が募集を開始する前から、予備募集を始めても構いません。また、地区委員会に学生から直接応募があった場合は、応募してきた学生に対し、その住居、学校の所在地等を考慮して、該当クラブを紹介します。その際はスポンサークラブになって頂きますようお願いいたします。

【募集と選考】

- 1) 応募学生を両親を含めクラブ内で面接して下さい。
- 2) ロータリアンの子弟も応募できますが、選考に特典を与えてはいけません。
- 3) クラブ内で選考したら地区委員会に書類を提出します。

【How to ! 派遣学生を見つける !】

- 1) クラブ内の子弟、知り合いに候補者はいないか、例会で声かけをする。

【How to ! 派遣学生の選考】

- 1) 年齢は出発時に15歳～18歳で高校在学中
- 2) 学業成績は学年全体の3分の1以上
- 3) 健康面、精神力は？留学生として必要なものは度胸と愛嬌
- 4) 保護者の同意を得ている？
- 5) 学校長の推薦を受けているか？

【地区段階の選考】

地区委員会では、各クラブより推薦のあった応募学生に対し、選考試験を実施します。合格、不合格は直ちに関係者に通知いたします。

【派遣学生への経済的援助】

派遣学生は往復の航空運賃や保険等を負担しなければならない。経済力は大丈夫かどうか判断して下さい。また、派遣先によって航空運賃が違いますので、予めその旨をお知らせ下さい。

【オリエンテーション】

地区委員会では派遣学生のためのオリエンテーションを留学開始まで毎月1回開催します。

【出発までのクラブでの役割】

出発まで、冬休みや春休みを利用して、できるだけ数多く例会に招待して下さい。例会に参加することは、大切なオリエンテーションの一つです。最近の高校生の考え方などを卓話させるのもおもしろい企画ですし、留学生にとっても度胸がつきます。また、出発が近くなりましたら、交換用のバナーを持たせます。(7~10本)帰国後、交換したバナーを受け取ります。自分はロータリーの交換留学生であることを充分認識させて下さい。ロータリーとは何かを教えてください。会長名、会員数等、クラブの内容も教えます。

【派遣学生出発と渡航ルート】

派遣学生の出発日と渡航ルートは、地区委員会が相手地区と協議の上、決定します。

来日学生に対しての役割

・・・来日前・受入準備・・・

【受入高等学校】

受入高校には、入学金、授業料は免除をお願いします。教材費、制服、体操着、通学費、修学旅行、学校保険等の必要経費はクラブで支払います。スクールカウンセラーと事前に打ち合わせをします。

【学校との打ち合わせ】

スクールカウンセラーとの打ち合わせを、必要に応じて何回でも開いて下さい。

【How to ! 学校に説明】

- 1) 留学生を受け入れることがいかに日本の高校生によい刺激を与えるか!
- 2) スクールマニュアルを説明!
- 3) 責任者はロータリークラブであることを説明!
- 4) 留学生を特別扱いすることは不要!
- 5) 留学生の学校経費はロータリークラブで持ちます!

【引受書類】

来日学生を受入れるための書類を、地区委員会より郵送します。書類を作成し、出来るだけ早く地区委員会に返送して下さい。

【ホストファミリーの選択】

ホストファミリーを2～4ヶ所選びます。ホームステイの期間は3ヶ月が目安です。勿論これ以上長くても構いません。

【カウンセラーがホストファミリー】

カウンセラーがホストファミリーになることは構いませんが、一時的か出来るだけ短い期間として下さい。

【ロータリアン以外のホストファミリー】

ホストファミリーはロータリアン以外でも構いません。派遣学生やROTEXを大いに活用して下さい。

【How to ! ホストファミリーの選択】

- 1) 義務や義理でホストファミリーを引き受けていないか?
- 2) 子供がいない家庭でもOK! (片親の場合は同姓が望ましい)
- 3) 留学生を歓迎してくれる暖かい気持ちが最大のプレゼント!

【留学生との文通】

来日学生の住所がわかったら、早束手紙を書いて下さい。日本語で結構です。留学生は滞在地の気候や、学校のこと、ホストファミリーのことなどを知りたがっています。

【到着・引っ越しのスケジュール】

地区委員会では、来日学生の到着スケジュール等が決まりましたら、各ホストクラブに通知いたします。クラブ例会で発表して下さい。また、それよりも早く来日学生から直接スケジュールを知った場合は地区委員会の方へお知らせ下さい。

【関係者事前打ち合わせ会議】

来日前に、全ホストファミリー、スクールカウンセラー、クラブ会長・幹事・担当委員に集まってもらい、打ち合わせ会議を開催いたします。

【How to ! 関係者事前会議】

- 1) 到着日はいつ？
- 2) ホストファミリーをお願いする期間は？
- 3) 登校開始日？
- 4) 例会日・オリエンテーション等、ロータリーの年間スケジュールの説明！
- 5) 緊急の場合連絡先と方法！（クラブカウンセラー・地区委員会）
- 6) 病院に行った場合の保険や支払方法の説明！

【地区からの助成金】

地区より年間48万円ずつホストクラブへ助成します。地区委員会より依頼している来日交換学生の情報のコピーが到着次第地区委員会より直接送金します。

【How to ! 受入準備】

- 1) 受入高校を決める！
- 2) ホストファミリーを決める！
- 3) 書類を作成する！
- 4) 留学生に手紙を書く！
- 5) 打ち合わせ会議を開催する！

・・・到着・滞在中・・・

【空港までの出迎え】

ホストクラブが成田空港 又は名古屋空港まで出迎えて下さい。

【外国人登録】

到着後、直ちに市役所（町役場）に留学生を連れていき、外国人登録証の発給を申請します。登録には、パスポートと写真(3.5×4.5cm) 3枚が必要です。この外国人登録証はパスポート代わりとなるものですから、常に携帯させるようにして下さい。

【パスポート・復路航空券】

パスポート、帰りの航空券は、帰国時までクラブで預かる方が紛失等の危険が少ないでしょう。保険証書の写しを地区委員会に提出した後はクラブ保管が安全です。（簡単な預かり証を本人に渡して下さい）

【受入高等学校】

学校やクラブの行事には積極的に参加させるようにお勧め下さい。過去の例から見ても留学生がこの種の活動に積極的になればなるほど、日本の風俗、習慣に早く溶け込みます。

【迷子札】

当分の間、第1ホストファミリーやクラブ、学校名を書いた「迷子札」を持たせることは一つの安全対策になります。

【小遣い】

派遣学生には毎月、地区委員会が定めた金額の小遣いを月初めに支給します。今年度は月10,000円です。この小遣いには昼食費、通学費は含みません。これらの必要があるときは小遣いとは別に渡します。

【クラブ例会への出席】

最低でも、月一回はクラブ例会に出席させます。必要であれば毎回出席させても構いません。ホストファミリーやクラブカウンセラーだけのプログラムではありません。会員全員で留学生をホストしていることを認識してもらうようにします。例会では、全会員で留学生にはなしかけるように、お願いしておきます。尚、例会出席に限らず、ロータリーの行事で学校を休ませる必要があるときは事前に学校の了解をお取り下さい。

【会員宅訪問】

会員全員で受け入れているという認識を持たせるため、月に何回かホストファミリー以外の会員宅を訪問し、夕食をごちそうになるというような、プログラムを組んでみて下さい。次回のホストファミリー選びにも役に立ちます。また、会員や会員家族のための英会話教室や、国際交流会等を企画してみても如何でしょうか。

【報告書】

受入れ前に「ホストファミリー担当予定表」を、また毎月「来日学生報告書」、地区外へ旅行に出る場合には「地区外旅行届」を提出して下さい。飛行機や船舶を利用する場合は親の承諾書を添付してください。

【地域社会への貢献】

地域内で、ロータリー以外の会合や行事に参加させることは、社会奉仕、青少年奉仕につながります。どんどん参加させるように、ホストファミリーにもお願いしておきます。近所の小学校や中学校を訪問させ、自分の国の紹介をさせて下さい。留学生はスライドやビデオ、写真等を用意してきています。これは留学生の目的意識高揚にも役立ちます。

【ホストファミリーの周知】

来日前に、来日学生に最初のホストファミリーの住所を知らせ、文通を始めるようお願いします。また、来日後は現在のホストファミリーの滞在期間と次のホストファミリーはどこなのかを予め知らせます。

【予備のホストファミリー】

予定していたホストファミリーが、やむを得ない事情等でキャンセルになる場合やホームステイ予定期間が短くなることもあります。予め、予備のホストファミリーを用意しておくとお処が楽です。

【ホストファミリーの移動】

来日学生がホストファミリーを移動する際、現・新のホストファミリーとの連絡調整、引っ越しの段取り等カウンセラーの仕事です。

【ホストファミリーとのトラブル】

事前にトラブルを防ぐため、定期的にホストファミリーの話しを聞いて下さい。特に最初の頃は、言葉が通じないし習慣も違うので、ホストファミリーと留学生の両方にストレスがたまります。留学生やホストファミリーとよく話をしてうまく調整して下さい。カウンセラーの重要な役目です。もし、ホストファミリーと来日学生の間に重大なトラブルが発生した場合は地区委員会にご相談下さい。

【留学生のルール】

留学生には守らなければならない規則がたくさんあります。地区委員会では、オリエンテーション等でホストファミリーや学校の規則、日本の法律等を遵守するように指導しています。留学生に問題がある場合は、地区委員会にご相談下さい。

【旅行】

地区外への旅行は、なるべくさせないようにお願いします。また、ロータリーの行事以外で地区外に出るときは、文書による許可が必要です。友達だけの泊まりの旅行や海外旅行は禁止されます。

【オリエンテーション等の参加】

地区委員会では来日学生のためのオリエンテーションを月一回開催します。年度初めに予定表を出していますので、その日は必ず出席させるよう指導して下さい。また地区大会へは必ず出席させて下さい。

【病気や怪我】

病気や怪我にはいつでも対処できるように、カウンセラーは夜中でも電話連絡がとれるようにしておきます。医療費は地区指定の留学生保険から出ますが、一時立て替えが必要になります。事前の打ち合わせで、ホストファミリー等にはよく説明しておきます。

【保険金の請求】

立て替えた医療費はすべて領収書が必要です。病気と怪我の報告書に必要事項を記入し、保険会社へ直接請求して下さい。

【緊急連絡先の周知】

地区委員会に緊急連絡先を登録します。緊急の際、24時間対応できる電話番号を明記して下さい。また、緊急時のために、ホストファミリー、スクールカウンセラー等の関係者全員にクラブカウンセラーと地区委員会緊急連絡先のリストを渡ししておきます。

【緊急事態発生の場合】

派遣学生、来日学生、その家族等に緊急事態が発生した場合には、直ちに地区委員会に連絡をし、地区委員会と合同で対処します。海外との緊急連絡は、地区委員会を通じて行います。

- (1) 重大な病気や怪我は直ちに地区委員会に連絡をして下さい。
- (2) 深夜でも構いません。
- (3) 誰が連絡をしても構いません。

【ホームシック】

重症なホームシックに掛かった場合、地区委員会に相談して下さい。交換学生、及びホストファミリーに対し、適切なアドバイスをします。

【留学生の親の訪問】

留学生の親が御礼を兼ねて来日する場合があります。また、親と一緒に京都等へ観光旅行に行くこともあります。親と一緒にですので、認めて構いません。但し、地区行事と重ならないよう、計画させて下さい。地区行事が優先します。地区委員会では、最初の6ヶ月が過ぎるまでと、帰国前2週間は、親や親戚の訪問を禁止しています。

．．．．帰国．．．．

【帰国前の荷物発送】

帰国近くになりますと、荷物が山のように増えてきます。帰国一ヶ月位前になりましたら、ホストファミリーと打ち合わせて、船便等で不要な荷物を発送させて下さい。費用はあくまで、本人負担です。

【帰 国】

帰国日は、7月下旬、または12月下旬頃を目途としていますが、クラブで帰国便を予約します。但し、特別の理由がない限り、11ヶ月以上1年未満の滞在になるように配慮して下さい。

【学 校】

学期終了前に帰国する場合、スクールカウンセラーと相談して、登校終了日を予め決めておきます。荷造り等の日程を含めて、帰国日より1週間くらい前に設定した方がいいと思います。

ご質問お問い合わせは下記までどうぞ。

国際ロータリー第2600地区
 青少年交換・ローテックス委員会
 2002-03年度委員長 小山 陽三（上田東RC）

〒386-0002 上田市住吉397-8

TEL：0268-22-3782

FAX：0268-27-3231

携帯電話：090-3147-2516

E-mail: yozo@koyama.jp